



1-1, ぶどうを持つ少女 1973年

ちひろを語るこの一点 「ぶどうを持つ少女」の魅力

9月26日(土)～11月30日(月)

一点の作品を通して浮かび上がる
ちひろの表現の魅力

ちひろの作品のなかでも、常に高い人気を誇る「ぶどうを持つ少女」。たっぷりにとられた余白のなかに、紫のつば広帽子をかぶった少女の横顔と、ぶどうの房を持った手だけが描かれている—この作品が、人々を惹きつける魅力はどこにあるのでしょうか。

本展では、「ちひろの白」「ちひろの紫」「横顔のシルエット」「帽子のおしゃれ」「手のしぐさ」の5つのテーマを通して、ちひろが到達した後期の技法の数々を紹介します。没後、40年以上のときを経て、今なお人々を魅了して止まない、ちひろの表現の魅力をご覧ください。



1-2, アトリエにて 1970年前後

展覧会名：ちひろを語るこの一点「ぶどうを持つ少女」の魅力

会期：2015年9月26日(土)～11月30日(月)

○開館時間＝9：00～17：00 ○休館日＝第2・4水曜日(ただし、9/30は臨時休館)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1・2

料金：大人800円／高校生以下無料

団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館



1-3, 木の葉の精 1972年

展覧会の見どころ：1) 5つのテーマを通して、ちひろの技法を紹介します

①ちひろの白

晩年になるほど、
説明的な描写を省き、
余白をいかした表現へと
移行していったちひろ。
日本の能の世界にも通じる
「省略の美学」に迫ります。



1-4, 帽子の少女 1970年

②横顔のシルエット

憂いをおびた横顔の子どもたち……。
ひとりの人格を持った人間として、
子どもの個性までも描き出した
ちひろの表現をさぐります。



1-5, ガーベラを持つ少女 1970年頃

③ちひろの紫

同じ紫でも、赤紫や青紫、黒っぽい紫まで……。
ぶどうの房にみる紫色のバリエーションのみみつを紹介します。



1-6『あめのひのおるすばん』試し塗り 1968年

⑤手のしぐさ

ぶどうに添えられた少女の手。
あかちゃんの月齢をも描き分け
たという、ちひろのデッサン力
を紹介します。



1-9, お姉さんとあかちゃん 1971年

④帽子のおしゃれ

たくさんの作品に登場する帽子。
このおしゃれアイテムに込められたちひろの思いとは？



1-7, パラ飾りの帽子の少女 1971年



1-8, 海を見つめる少女 1973年

2) ちひろのアトリエを再現

「ぶどうを持つ少女」が描かれたのは、
ちひろが亡くなる前年の1973年でした。
数々の代表作を生み出した練馬区下石神井の自宅の
アトリエ（一部）を、展示室内に再現します。



主な出展作品：ぶどうを持つ少女 1973年、帽子の少女 1970年、『あめのひのおるすばん』（至光社）より 1968年、『たけくらべ』（童心社）より 1971年、
ゆびきりをする子ども 1966年、『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）より 1972-73年 ほか

出展作品数：約80点

関連イベント：ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話しします。

日時：毎月第2・4土曜日 14:00～14:30 会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1・2 料金：無料（入館料別）申し込み：不要（参加自由）

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



<企画展>

『はしれ、トト!』

チョ・ウンヨン
조은영의絵本づくり展

9月26日(土)～11月30日(月)



2-1

競馬場が舞台のこの絵本に目がくぎづけ!

韓国の若手画家、チョ・ウンヨンがブラティスラヴァ世界絵本原画展でグランプリを獲得した絵本『はしれ、トト!』は、競馬場という今までにない物語の舞台設定と、幼い少女の目を通して展開されていく人間観察の興味深さが魅力です。200点を超える膨大なスケッチから構成されたユニークな創作手法も、目をひきます。この絵本は最初にフランス、次に作者の母国の韓国、そして次に日本で出版され、大きな反響を呼びました(日本では2014年日本絵本賞翻訳絵本賞受賞)。



2-2



2-3

本展では、原画約80点と、絵本づくりのプロセスで使った写真やスケッチなどを通して、このユニークな絵本のできた背景を紹介します。また、作者や絵本に関わった編集者、関係者のことばも紹介する予定です。



2-4

展覧会名: <企画展> 『はしれ、トト!』 チョ・ウンヨン 조은영의絵本づくり展

会期: 2015年9月26日(土)～11月30日(月)

○開館時間=9:00～17:00

○休館日=第2・4水曜日(ただし、9/30は臨時休館)

会場: 安曇野ちひろ美術館 展示室4

料金: 大人800円/高校生以下無料

団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き/障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円

2-1～2-4, チョ・ウンヨン『はしれ、トト!』(文化出版局)より
2010年(個人蔵)

展覧会の見どころ：競馬場を描いた絵本？!

いまだかつて、絵本の歴史で競馬場を舞台にした本はあったでしょうか？ それも、ヨーロッパの優雅な競馬場ではなく、おじさんたちが集まる泥臭い競馬場を……。『はしれ、トト!』は、トトという馬のぬいぐるみをもった女の子が初めて本物の馬を見にそんな競馬場へおじいさんと行く話です。

エネルギーがたくさん

ストーリーが面白いだけでなく、絵の力強さも圧倒的です。さまざまなスタイルで、競馬場の馬や人物が表情豊かに描かれ、見る者を飽きさせません。歴史あるブラティスラヴァのコンクールで、グランプリを30歳の若さで受賞したのも納得。彼女が長年の歳月をかけた最初の絵本での快挙です。この1冊の絵本のために描かれた沢山のスケッチや資料類も一緒に展示します。



2-5

作家が初来日！ 安曇野にやってきます

韓国からチョ・ウンヨンが10月に初めて安曇野ちひろ美術館へ来館します。ワークショップやよみきかせ、自作についてのトークなどを行います。(詳細は別記) これからの活躍が期待される、若手画家に直接会える貴重な機会をお見逃しなく!

主な展覧作品：『はしれ、トト!』(文化出版局)より 2010年(個人蔵)

展覧作品数：約80点

画家プロフィール：



チョ・ウンヨン (조은영)

1981年、韓国・ソウル生まれ、在住。梨花女子大学校でビジュアルデザインを学び、その後ソウル大学校でイラストレーションの修士課程を修了。2009年のポーロニャ・ブックフェアの韓国スタンドで展示したダミー絵本が、フランス Memo 社の編集者の目に留まり、翌年にフランスで“La Course (レース)”として、2年後には韓国で“Dal Ryu Toto! (はしれ、トト!)”として出版された。2011年、第23回ブラティスラヴァ世界絵本原画展でグランプリ受賞。本作は、作者の絵本第一作である。

関連イベント：●特別版 おはなしの会：チョ・ウンヨンと絵本を楽しもう (スペシャルゲスト：広松由希子)

日時：10月10日(土)、11日(日) 各日11:00～12:00

料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)

●ギャラリートーク チョ・ウンヨン 自作を語る

日時：10月10日(土) 14:00～15:00

料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)

●チョ・ウンヨンによるワークショップ

日時：10月11日(日) 13:00～17:00(予定)

料金：無料(入館料別) 定員：30名(予定)

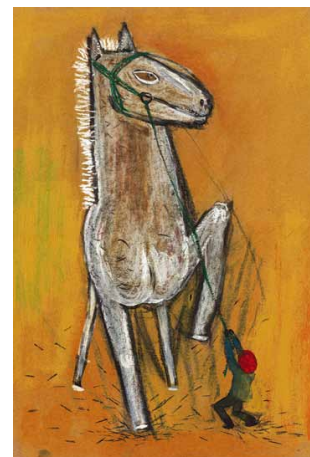
要申し込み：安曇野ちひろ美術館HP、TEL.0261-62-0772にて

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:30～15:00 会場：安曇野ちひろ美術館 展示室4

料金：無料(入館料のみ) 申し込み：不要(参加自由)



2-6

関連書籍：『はしれ、トト!』(文化出版局) 2013年

関連展示：2016年春にちひろ美術館・東京へ巡回します。

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。
 ※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。
 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。
 ※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。
 ※掲載紙/誌をご送付ください。

2-5～2-8, チョ・ウンヨン 『はしれ、トト!』(文化出版局)より 2010年(個人蔵)



2-7



2-8



ちひろ美術館コレクション 10人の絵本画家 10の絵本づくり

9月26日(土)～11月30日(月)

絵本はどうやってつくられているの？
10人の画家の制作のひみつ

ナンセンスの世界を築いた長新太、物語を視覚的に演出した赤羽末吉、色彩鮮やかなコラージュを駆使したエリック・カール……、10人の絵本画家がいれば、そこには10通りの絵本づくりがあります。画家たちは、物語の主題を豊かに伝えるため、さまざまな工夫をしながら、独自の絵本づくりを行っています。

本展では、個性際立つ10人の絵本画家を選出し、作品や制作過程の資料などを通して、十人十色の絵本づくりを紹介します。



3-1, 長新太 『あるけあるけ』(こぐま社)より 2000年



3-2, エリック・カール 『ぼくのねこみなかった?』(偕成社)より 1972年



3-3, 西村繁男 『にちよういち』(童心社)より 1979年



3-4, クヴィエタ・パツオウスカー 『ふしぎなかず』(ほるぷ出版)より 1990年

展覧会名：ちひろ美術館コレクション 10人の絵本画家 10の絵本づくり

会期：2015年9月26日(土)～11月30日(月)

○開館時間＝9:00～17:00

○休館日＝第2・4水曜日(ただし、9/30は臨時休館)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室3

料金：大人800円／高校生以下無料

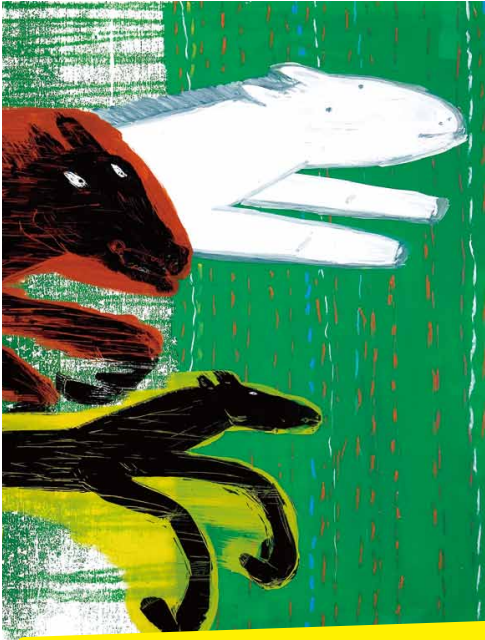
団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円



3-5, 武田美穂 『となりのせきのますだくん』(ポプラ社)より 1991年

主な出展作品：長新太『あるけあるけ』(こぐま社)より2000年、武田美穂『となりのせきのますだくん』(ポプラ社)より1991年、西村繁男『にちよういち』(童心社)より1979年、エリック・カール『ぼくのねこみなかった?』(偕成社)より1972年、クヴィエタ・パツオウスカー『ふしぎなかず』(ほるぷ出版)より1990年、赤羽末吉『お月さん舟でおでかけなされ』(童心社)より1980年

展示関連イベント



作家が初来日!!

特別版 おはなしの会：チョ・ウンヨンと絵本を楽しもう

10月10日(土)、11日(日) 各日11:00～12:00

出展中の絵本『はしれ、トト!』の著者本人による読み聞かせや
本作の翻訳者・広松由希子氏による翻訳版の舞台裏もご紹介します。
参加者からの質疑応答など盛りだくさんの会です。

料金：無料(入館料別) 申込方法：不要(参加自由)



広松由希子

編集者、文庫主宰、ちひろ美術館学芸部長を経て、フリーに。絵本の文、評論、展示企画などを手がける。2010年ポーロニャ国際絵本原画展審査員、2013、15年プラティスラヴァ世界絵本原画展審査員、2012-15年ブックスタート選考委員。著作に絵本『おかえりたまご』(アリス館)、『いまむかしえほん』シリーズ(全11冊 岩崎書店)や絵本の書評集『きょうの絵本 あしたの絵本』、訳書に『はしれ、トト!』(日本絵本賞翻訳絵本賞、いずれも文化出版局)などがある。



©Kim Sun-a

ギャラリートーク
チョ・ウンヨン 自作を語る

10月10日(土) 14:00～15:00

画家チョ・ウンヨンが、
絵本『はしれ、トト!』を
つくった背景を、
展示された資料や絵の前で
語ります(通訳付き)。

料金：無料(入館料別) 申込方法：不要(参加自由)

チョ・ウンヨンによる
ワークショップ

10月11日(日) 13:00～17:00 (予定)

さまざまな技法が使われ、描き方も大胆なところが
魅力の絵本『はしれ、トト!』。画家チョ・ウンヨンから
絵本の作り方についての話を聞き、絵本に使わ
れた技法を体験しながら、自分の作品を制作します。

料金：無料(入館料別) 定員：30名(予定)

申込方法：要事前予約(ちひろ美術館HP、TEL.0261-62-0772)

夜のミュージアムを楽しむ

10月17日(土) 21:00まで開館延長

この日は特別に21:00まで開館延長し、毎年好評の、安曇野寄席を開催いたします。
ライトアップされた夜の美術館をお楽しみください。

ちひろ美術館に来ましょ!

松川村お嫁さんデー

10月20日(火) 9:00～17:00 松川村のお嫁さんは、入館無料と1ドリンクサービス

この日は、日頃忙しく働く松川村のお嫁さんを、特別に、安曇野ちひろ美術館へご
招待します。たまには家事や育児を忘れて、のんびり過ごしてみませんか。この機
会にぜひ、安曇野ちひろ美術館へお越しください。

2016夏トットちゃん広場オープン・
プレイイベント

2016年夏に完成予定の安曇野ちひろ公園・トットちゃん広場。2015年は毎月開催する
『窓ぎわのトットちゃん』のエピソードにちなんだイベントに参加して、みんなで新たな
公園の完成を待ちましょ! イベント参加者限定のスタンプラリーも行っています。

畑の先生・収穫祭

10月25日(日) 13:30～15:30

6月にみんなで植え付けたさつまいもを収穫し、焼きいも大会をします。
さあ、出来栄はいかがでしょう!? お楽しみに。

参加費：一人500円 定員：親子10組(要申し込み) 場所：安曇野ちひろ美術館

自然で遊ぼう! ワークショップ

11月8日(日) 13:30～15:30

造形作家の川村忠晴氏を講師に迎え、拾ってきた葉っぱや木の实などを使って、
自分だけのオリジナル作品をつくります。

参加費：一人500円 集合場所：安曇野ちひろ美術館

安曇野スタイル2015

あかちゃんのための 初めての贈りもの

10月30日(金)～11月3日(火・祝) 9:00～17:00

ちひろ美術館は、生まれて初めて訪れる美術館

—ファーストミュージアムとして、あかちゃんも楽しめる美術館です。

今年の安曇野スタイルでは、子ども椅子、スプーン、絵本など、
心をこめてつくられた「あかちゃんのための贈りもの」を
紹介し、販売します。

会場：安曇野ちひろ美術館

<関連イベント>

わらべうたあそび 10月31日(土)

10:30～11:00 / 13:00～13:30

講師：杉田裕香 対象：0～2歳

おはなしの会 11月1日(日)

10:30～11:00(あかちゃん向け)

13:00～13:30(全年齢)



いわさきちひろ おつむてん 1971年

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどを
お話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:00～ちひろ展

14:30～世界の絵本画家展または企画展

参加費：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)

●おはなしの会

季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせや
素話を、親子でお楽しみください。

日時：毎月第2・4土曜日 11:00～11:30

会場：安曇野ちひろ美術館 絵本の部屋

料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)



撮影：橋本裕貴

開館情報

安曇野ちひろ美術館は、12月1日～2016年2月29日まで冬期休館となります。2016年は3月1日より開館します。

安曇野ちひろ美術館

http://www.chihiro.jp/

お問い合わせ 安曇野ちひろ美術館 広報担当 奥原・畔柳・田邊・入口
〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原 3358-24
TEL.0261-62-0772 FAX 0261-62-0774
E-mail:apublicity@chihiro.or.jp